



www.alpajapan.org

日乗連ニュース

ALPA Japan NEWS

Date 2007.4.11

No. 30-31

発行:日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan
幹事会
〒144-0043
東京都大田区羽田5-11-4
フェニックスビル
TEL.03-5705-2770
FAX.03-5705-3274
E-mail:office30@alpajapan.org

エアーニッポン・エアーセントラル・

エアーニッポンネットワーク・エアーネクスト乗員組合

4月11日24時間ストライキ決行!

エアーニッポン・エアーセントラル・エアーニッポンネットワーク・エアーネクスト・4乗員組合は、11日山場を控えた局面の団体交渉に、4乗組が要求し続けていた権限を有した責任者のANA社長はまだしもANK社長でさえ出席していない状況で交渉を開始しました。数度の団体交渉、事務折衝で局面の打開を図りましたが、4乗組とも安全運航の確保（企業責任）、公募制の撤回、小型機以外の運航機会等に関し合意に至らず、交渉期限の時間切れで、24時間ストライキを決行しました。

【以下の内容は、エアーニッポン乗員組合発行「COCKPIT 33-050号:2007.4.11」より抜粋。】

4月11日ストライキ決行、4乗員組合見解

4月10日の再回答は、4乗員組合のいままで積み重ねてきた誠実な交渉経緯をいっぺんに覆すばかりか、いままで労使の努力と汗で築いてきた諸先輩達の思いをも否定した結果と判断させるをえない。4乗員組合は、全日空労務姿勢の変化を06春闘以来、かすかながらも期待し、前向きに交渉を進めてきたが、全日空経営は、我々のわずかな期待をも裏切った。4乗員組合は、このような状況に至ったことが残念かつ無念でならない。また、全日空経営の姿勢を容認することはできない。4乗員組合は、「安全運航の確保」と「民間航空の健全な発展」を確保するため整然とストライキに突入する。4乗員組合は、全日空経営に安全運航の確保とグループの健全な発展のために、早急に再回答を行なうように求める。加えて4月25日に24時間ストライキを設定し団体交渉の継続を申し入れる。

4乗員組合が切実に主張しているのは、「安全運航の確保（企業責任）」「垣根のない乗員養成の実現」「グループ労働条件の整理」です。日乗連は、今後とも、4乗員組合の運動を支援していきます。

